

大学院授業科目と単位の概要

1. 主科目（下記全テーマを4年間で履修する）

【必修講義・実習】

1) 生命科学概論 2単位

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 研究・実験計画法 | [日高 真純] |
| 2. 研究倫理（1） | [研究倫理教育責任者] |
| 3. 研究倫理（2） | [研究倫理教育責任者] |
| 4. 動物実験の科学性と倫理（1） | [田中 芳彦] |
| 5. 動物実験の科学性と倫理（2） | [田中 芳彦] |
| 6. 臨床研究の倫理（1） | [池邊 哲郎] |
| 7. 臨床研究の倫理（2） | [永嶋 哲也] |
| 8. バイオハザード | [荒川 満枝] |
| 9. 生物医学統計処理法（1） | [谷口 奈央] |
| 10. 生物医学統計処理法（2） | [谷口 奈央] |

2) 生命科学演習 2単位

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 研究倫理とミスコンダクト（1） | [研究倫理教育責任者] |
| 2. 研究倫理とミスコンダクト（2） | [研究倫理教育責任者] |
| 3. 文献検索法（講義） | [大星 博明] |
| 4. 論文作成・成果発表法 | [池邊 哲郎] |
| 5. 実験動物の取り扱い（1） | [田中 芳彦] |
| 6. 実験動物の取り扱い（2） | [田中 芳彦] |
| 7. 実験動物の取り扱い（3） | [田中 芳彦] |
| 8. 文献検索法（演習） | [内藤 徹] |
| 9. EBM入門（1） | [内藤 徹] |
| 10. EBM入門（2） | [内藤 徹] |

3) 総合医学概論 2単位

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（1） | [西尾 淳] |
| 2. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（2） | [金光 芳郎] |
| 3. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（3） | [池田 哲夫] |
| 4. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（4） | [山野 貴史] |
| 5. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（5） | [大星 博明] |
| 6. 歯科に関連する画像情報入門 | [香川 豊宏] |
| 7. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（6） | [鳥巢 浩幸] |

4) 総合医学演習 2単位

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 内科演習 | [大星 博明] |
| 2. 外科演習 | [池田 哲夫] |
| 3. 耳鼻科演習 | [山野 貴史] |
| 4. 皮膚科演習 | [古村 南夫] |
| 5. 心療内科演習 | [金光 芳郎] |
| 6. 眼科演習 | [大島 裕司] |
| 7. 小児科演習 | [鳥巢 浩幸] |
| 8. 整形外科演習 | [西尾 淳] |
| 9. 内視鏡学演習 | [池田 哲夫] |

5) 所属講座の講義・実習 _____ **12単位**

注) 歯科医療工学講座、口腔医学研究センターおよび口腔医療センターについては、研究科委員会が関連すると認めた講座の講義・実習2単位を主科目の単位として認定する。

主科目単位 計20単位

2. 副科目

【選択必修講義・実習】

1) 生命科学実験入門（選択必修）

Aグループ、Bグループの各グループから2テーマ以上（計4テーマ以上）を選択し、履修する。〔各テーマは6～10コマ（12～20時間）で構成〕 _____ **4単位以上**

生命科学実験入門

Aグループ＜形態系・臨床研究系＞

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 電子顕微鏡操作法（透過型・走査型） | 〔評価責任者：畠山 雄次〕 |
| 2. 免疫染色法 | 〔評価責任者：病態構造学分野〕 |
| 3. X線マイクロCTの原理と操作法 | 〔評価責任者：日高 真純〕 |
| 4. 臨床統計学 | 〔評価責任者：内藤 徹〕 |

Bグループ＜機能系＞

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 遺伝子操作法 | 〔評価責任者：梅津 桂子〕 |
| 2. 転写調節機能解析法 | 〔評価責任者：藤田 亜美〕 |
| 3. 遺伝子発現解析法 | 〔評価責任者：八田 光世〕 |
| 4. 組織細胞培養法 | 〔評価責任者：日高 真純〕 |

2) 所属講座以外の講義・実習 _____ **6単位以上**

大学院特別講義およびこれに準ずるもの6テーマを受講すれば、副科目の1単位として算入できる。

副科目単位 計10単位以上